

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

- (1) 競技は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本競技会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについては TR5.2 の適用を除外する。

2 練習について

練習は、主競技場・補助競技場（時間帯による）を使用すること。ただし、投てき練習は、招集完了後役員の指示により行う。

3 招集について

- (1) 招集所は、主競技場実施種目は室内練習場、補助競技場実施種目は補助競技場内に設ける。
- (2) 種目別の招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 手順
 - ①招集開始時刻に競技者の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・腰ナンバー・スパイク・ランニングシューズの確認・点検を受ける。なお、長距離種目の別ナンバーは招集時に配付する。
 - ②点呼の代理人は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集の前に本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラム巻末に綴込み）を提出し、併せて確認・点検を受けておくこと。
 - ③招集完了時刻に遅れた競技者は出場を認めない。
- (4) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出する。

4 競技について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
- (2) **5000m、3000m は補助競技場で実施する。**
- (3) 5000m、3000m は別ナンバーを使用する。競技終了後、フィニッシュ地点で係に返却する。
- (4) レーンを使用するトラック競技の腰ナンバーは各校で用意し、右側につける。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは、9mm 以内、本数は 11 本以内とする。ただし、走高跳は 12mm 以内とする。
- (6) 男子三段跳の踏切位置について
1 組（スタンド側） 9 m 2 組（トラック側） 11 m
- (7) 走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

走 高 跳	男 1 組	1.60(練) 1.80(練)	1m65-70-75-80-85 以後3cmずつあげる
	男 2 組	1.20(練) 1.50(練)	1m25-30-35-40-45-50-55-60-65-70-75-80-85 以後3cmずつあげる
	女 1 組	1.35(練) 1.55(練)	1m40-45-50 以後3cmずつあげる
	女 2 組	1.05(練) 1.30(練)	1m10-15-20-25-30-35-40-45-50 以後3cmずつあげる

注) 天候その他で変更する場合がある。

5 競技用具について

- (1) やり以外の競技用具は、主催者が用意したものを使用すること。
- (2) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。その際の検査場所および検査時刻は下記のとおりとする。
検査場所・・・西側（フィニッシュ側）用器具庫
検査時刻・・・女子 1 組： 8:10～ 8:20 女子 2 組： 10:00～10:10
男子 1 組： 11:50～12:00 男子 2 組： 13:50～14:00

6 その他

- (1) 本競技場の開門は 7 時 30 分、補助競技場の開門は 7 時 00 分とする。
- (2) すべてのスタンドの使用を認める。ただし、バックスタンドの上段及びトイレの使用は禁止する。
- (3) スタンド、更衣室等は常に清潔保持につとめ、ゴミは各校、各自で必ず持ち帰ること。
- (4) 更衣室の利用は短時間（5分程度）とし、シャワーの使用は禁止する。
- (5) 補助競技場内の更衣室は使用を禁止する。
- (6) 感染防止に配慮し、声を出しての応援（ラップタイムの読み上げを含む）、集団での応援は禁止する。また、トラック競技のスタート時における応援は慎むこと。
- (7) 補助競技場の芝生内への立ち入りは禁止する。